

らまし〜後度士となり寛永十六年  
閏十月めされし

大猷院殿〜仕〜ありと云ふは十七

年より富士見番を勤む  
家譜の子孫拜  
賜の列にあり

原

龜藏藤原重久按よる家傳  
親胤にける三任其

子あり按よる家傳より三任あり重國のち市存其重胤  
り又按よる家傳より平氏よりして下院小宮城王原田而

亂るの後胤武田  
信玄の家長と云ふ信濃よ生む

東照宮〜め〜出さる寛永  
濟其後駿河

大納言忠長卿〜附屬せ〜して代官と

片とし元和四年四月二日死す家  
濟其子

勘定所重國按よる家傳  
親治作る駿河〜生る

寛永  
藩

しるし 龜藏より父と同く忠

長卿よりはうへ山性より和むかの御事

ついで後處士となり家寛永十二年

十二月赦免ついで印日大番より列し

同十六年十一月元のことより康永二年

俵より賜ふ家正保二年六月四日賜物より

よ迂り其後番より辞し小普請等

あり印日記家譜の今の小普請  
原彌五郎胤亮の祖なり

原

刑部平胤流家大隅胤歳家より

千葉胤支族よりして下総國小弓より

城主原四郎胤高家の後より傳胤氣より

より新七郎よりいし武田家より仕へ

天正十年勝頼没落の後より仕へ

東照より拜揚し家人より同十

二年三月廿六日死す法名日敬より